

家具道具室内史学会 2017 年度大会

トーク&ディスカッション

「日本の木工文化を世界へ」

かつて海を渡り、遠く海外の工芸、美術、デザイン等に影響を与えた日本の工芸品について学び、家具史研究家小泉和子と木工藝家須田賢司氏が専門家と参加者と共に日本の木工文化を世界へ発信するにはどうすべきか考えます。

2017年6月3日(土) 13:00～17:00

愛知芸術文化センター 12階アールスペース EF

名古屋市東区東桜 1-13-2 / 地下鉄東山線または名城線栄駅よりオアシス 21 から地下連絡通路経由徒歩 3 分

参加費 1,000 円 (家具道具室内史学会会員無料) ※事前予約 (当日空席がある場合はご参加いただけます)

第1部 トーク「輸出家具・室内装飾品」 13:00～15:10

趣旨説明 小泉和子 (家具道具室内史学会会長)

トーク 「近世における漆工品の輸出」 日高薫氏 (国立歴史民俗博物館)

「寄木細工・芝山細工・横浜芝山漆器の輸出家具」 金子皓彦氏 (日本輸出工芸研究会会長)

「海を渡った彫刻家具—横浜を中心に」 門田園子氏 (横浜市立大学ほか非常勤講師)

「仙台筆筒と輸出—地元に残る史料から戦前の動向を探る」 庄子晃子氏 (東北工業大学名誉教授)

「『並河家文書』にみる『並河七宝』への憧れ」 武藤夕佳里氏 (京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター研究員/並河靖之七宝記念館主任学芸員)

「コペンハーゲンに残る日本の金唐紙」 Anne Simonsen 氏 (修復師/Royal Danish Academy of Fine Arts 講師)

休憩 15:10～15:20

第2部 ディスカッション「日本の木工文化を世界へ」 15:20～17:00

基調講演 須田賢司氏 (木工藝家)

パネラー 日高薫氏・金子皓彦氏・門田園子氏・庄子晃子氏・武藤夕佳里氏・Anne Simonsen 氏・須田賢司氏・小泉和子

家具道具室内史学会 2017 年度 講座

「西洋家具ものがたり～日本の西洋家具の歴史～」

開国した日本はさまざまな西洋文化を取り入れましたが、その一つに家具があったことはあまり知られていません。そして、それらはデザインの的にも技術的にも歴史的にもとても面白いということも。本講座では、家具史研究者である小泉和子が日本の西洋家具の魅力をたっぷりと語ります。

2017年7月1日(土) 13:30～15:30 於 昭和のくらし博物館

東京都大田区南久が原 2-26-19 / 東急池上線久が原駅、または、多摩川線下丸子駅下車徒歩 7 分

参加費 1,000 円 (会員) 1,500 円 (会員外) ※事前予約 (当日空席がある場合はご参加いただけます)

※会員対象は家具道具室内史学会会員・昭和のくらし博物館協力会員・友の会会員

※昭和のくらし博物館をご見学いただけます。

主催：家具道具室内史学会・昭和のくらし博物館



登録文化財
日清講和記念館



重要文化財
旧三井倶楽部



重要文化財
旧松本家住宅

家具道具室内史学会 2017 年度 見学旅行

「近代洋風家具を巡る北九州・下関の旅」

講座「西洋家具ものがたり」で学んだ日本の近代洋風家具を小泉和子会長と実際に見に行きます。北九州の重要文化財旧門司三井倶楽部、下関の登録文化財日清講和記念館(春帆楼)に残る明治、大正時代の洋風家具を巡り、さらに、アール・ヌーボーの家具・室内が美しい重要文化財旧松本家住宅でフランス料理を楽しみます。

日程：2017年10月8日(日)～9日(月・祝) 定員：20名 ※定員になり次第第×切

行程：10/8 13:00 福岡空港集合→博多駅乗車→登録文化財日清講和記念館(春帆楼) 見学→重要文化財旧門司三井倶楽部見学→17:30 博多駅着 10/9 9:30 博多駅集合→重要文化財旧松本家住宅(西日本工業倶楽部) 見学・昼食→16:30 博多駅下車→17:00 福岡空港解散(予定・予期なく変更になることがあります)

参加費：18,000 円(会員) 20,000 円(会員外)

※バス代、資料代、10/9の昼食代、入館料を含みます。

※宿泊費、集合場所までの往復と上記行程以外の旅費は各自でご負担ください。宿泊は博多駅周辺に手配していただくと便利です。

問合せ・申込先：家具道具室内史学会事務局 mail@jpshift2008.org / 090-8517-4820 (火～木受付)
ホームページ http://www.jpshift2008.org でもご案内しております。